

(資料・HP告知)

## パーキンソン病への深部脳刺激療法と認知症関連症状について

研究責任者：名古屋大学医学系研究科リハビリテーション療法学専攻 教授 寶珠山 稔

分担研究者：名古屋大学医学系研究科リハビリテーション療法学専攻

博士課程前期課程1年・藤井 園子

### 1. 研究目的

深部脳刺激療法は、パーキンソン病患者様の機能外科的治療法として最近行われるようになった新しい治療法です。運動障害を劇的に改善する点で多くの利点があり。術後のリハビリテーションとの組み合わせで社会復帰をされている患者様も増えています。

この研究では、深部脳刺激療法後のリハビリテーションをより有効にするために、認知症関連症状の有無についての術前後の変化を明らかにするものです。

### 2. 研究方法

平成22年度に名古屋市立大学病院リハビリテーション部で行われた研究「視床下核深部刺激療法を行ったパーキンソン病患者の非運動症状である精神機能と高次脳機能と日常生活活動について」の評価データのうち認知症関連の評価項目を解析するものです。

### 3. 倫理的配慮

平成22年度の研究は、名古屋市立大学大学院医学系研究科倫理審査委員会の承認を得て実施されており、同意署名が得られている方の既存のデータを使用します。データは、個人情報とは削除されID番号により管理された匿名化されたデータベースとなっており、個人情報は保護されています。また、データの解析は上記の研究と同様に、名古屋市立大学病院リハビリテーション部で行い部外に持ち出すことはありません。学術論文や専門学会での発表は、個人データが含まれない解析後の集団データについてのみ行います。

### 4. 同意について

この説明書をお読みいただき、研究参加（既存匿名化データの利用）に同意されない場合には下記5までご連絡いただきますようお願いいたします。同意されない場合でもとくに不利益を被ることはありません。

### 5. 本研究に関する問い合わせ先：

研究責任者 名古屋大学医学系研究科リハビリテーション療法学専攻・

教授・寶珠山 稔

〒461-8673 名古屋市東区大幸南1-1-20

電話/FAX 052-719-3159

(苦情の受付先) 名古屋大学医学部保健学科 総務掛 電話 052-719-1504